

手を握らずに親と子



令和6年2月発行 登別市教育委員会・学校教育グループ「子育てコラム」 No. 30

こどもの“なりたい自分”を応援できる社会へ

今、子どもたちの自分らしさには、“男らしさ”“女らしさ”や“女だから～”、“男だから～”という性別や性役割を超えた、“自分が自分であること”、“そのような自分が他者や社会から認められること”が求められています。

今回は、性役割、性別による思い込みが、こどもの育ちにどのように関係するのか、そして私たちおとなが子どもたちにできることについて考えていきたいと思います。

性別による期待とこどもの育ち

こどもへの期待は、生まれる前から始まります。洋服やおもちゃ、名前など、「女の子ならこの色の服」「男の子ならこのおもちゃを」と、それ自体は親の願いがこもっていてすてきなことでありながら、つつい社会的に決められた色やおもちゃを選びがちです。



生まれてからも、こどもはおもちゃやアニメなどの周囲の環境や、性別による“こういう風に育ってほしい”というおとなの期待を受けながら育ちます。さらに、性役割の傾向が強い環境で育つほど、他者のことも“男だから(男のくせに)”、“女だから(女のくせに)”という見方が強まるといわれています。

こども・おとなにかぶさる、“見えないふた”

性別による思い込みがいかに関与するか、心理学の実験結果を見てみましょう。女性受験者に、数学のテストをさせるときに、2 パターンの説明をします。

パターン①



これから行う数学のテストの結果は、
男性と女性で差はありません。



⇒結果、成績に差はなし

パターン②



これから行う数学のテストの結果は、
男性のほうが得点が高いです。



⇒結果、成績が低くなる

パターン②の女性受験者のテストの結果が低くなってしまったのは、「女性は数学が苦手」というネガティブな思い込みにより、実際に能力が発揮されなかったことが理由と考えられます。

車の運転、リーダーシップや家事、育児、仕事の作業内容に関する事など、性別による思い込みが根付いている例は、多数存在します。

また、男性を対象に行ったアンケートでは、「男性が家計を支える」「危険な仕事が多い」、「忍耐を重んじる精神性」などを理由に、回答者の約4割が“男性としての”生きづらさを感じる、と答える結果となりました。

どちらかの性別であるがゆえに苦手意識を生み出し、能力を十分に発揮できないということ、どちらかの性別であるからといってマイナスな感情を表出できない、気持ちを押し殺して生きていかなければならないことは、こどもにとっても、おとなにとっても、社会にとっても有益なことではありません。

私たちおとなから変わっていくということ

「女の子/男の子のおもちゃは、女の子/男の子だけのもの？」
「どうして男は泣くなっていわれるの？」
「男の子がピンクの服を着たらだめなの？」
「女の子はいい大学に行かなくていいの？」
「なぜ世の中のえらい人は男の人ばかりなの？」



こどもたちは、世の中にたくさんのギモンを持っていることでしょう。

世の中の移り変わりの時期にある私たちおとなでも、このような子どもの問いかけにどう答えたらいいのか、悩んだりすることがあるかもしれません。

こどもがどちらかの性別であるからといって生きづらさを感じたり、何かを手にするのをあきらめたりせず、“自分らしく”生きることができるように、次のように考えたり、関わってあげられたらよいのではないのでしょうか。

◇ 私たちおとな自身が、性役割や性別による思い込みに気が付くこと

性別による役割意識の思い込みは社会全体の課題であり、要因が複雑です。おとなもすぐに適応することは非常に難しいものですが、身近にあるあたりまえから見直し、気が付くことから始めませんか？

◇ 多様なあり方を認められること

これまでの性役割以外にも、他人に迷惑をかけたり傷つけることがなければ、どのようなあり方でもいいし、相手の多様なあり方を認められるひとになってもらえるように、こどもたちに言葉で、私たちおとなの生きる姿で、伝えていきませんか？

これらのことが、これからの世の中を生きる子どもたちの希望となるのではないのでしょうか。

生まれたときの性別にかかわらず、
「かっこいい」「かわいい」「おしゃれ」「たくましい」「元気」「はつらつとした」「すてき」
いろいろな姿、なりたい自分に、全てのこどもが目指せる社会へ

好きな色、好きな服、おもちゃ、教育、スポーツ、進学、職業選択、様々な選択肢において、こどもがなりたい自分になるために、自由な選択ができる社会へ



こどもたちが“なりたい自分”を思い描き、自分の可能性や能力を十分に発揮しながら育ってくれることを願いたいと思います。



多様なあり方についてこどもと考えてみたいときにお勧めの動画・CM、絵本

【動画・CM】公益社団法人 AC ジャパン ～聞こえてきた声～

【絵本】いろいろ いろいろな かぞくのほん(メアリ・ホフマン:著 ロス・アスキス:絵)